

Student's Voice 【 学生に聞く医学部の学び 】

1 年次の学び

症例に対してディスカッションや
プレゼンテーションを行う
症例基盤型学修。

医学部 1年

▶ 小山田 夕芽 (岩手県立盛岡第一高等学校出身)

認知症の治療や研究に携わる医師を目指しています。冬虫夏草を用いた認知症治療の研究に魅力を感じ、岩手医科大学を志望しました。また、私が受験した地域枠入試では岩手県から奨学金を得ることができたため、両親の負担を軽減できることも進学の手になりました。1年次前期は教養科目が中心でしたが、いくつかの症例に対してディスカッションやプレゼンテーションを行う症例基盤型学修が特に興味深かったです。後期からは専門科目も増え、医学を学ぶ楽しさを感じています。



時間割例 (1年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		English Reading & Writing	医科生理学	専門課程への化学	医化学
2	医療面接の基礎	English Speaking & Listening		科学英語	
3	骨学	物理学実習	基礎組織学	数理統計学	初年次ゼミ
4	骨学実習		基礎組織学実習		
5					

2 年次の学び

「臨床解剖学」を通して
正常な人体構造を知り、
畏敬の念も深められました。

医学部 2年

▶ 村石 龍 (千葉県私立市川高等学校出身)

高校時代、スーパーサイエンスハイスクールへの取り組みを通して医療研究に興味を持ちました。岩手医科大学を選んだのは、伝統があり、4学部連携によるチーム医療の実践的な学びに魅力を感じたからです。2年次は後期の「臨床解剖学」に力を入れました。血管や神経、臓器などにも人によって違いがあり、基礎医学と臨床医学のつながりを体感することができました。正常な人体構造を知ることで、人体機能や成り立ちを理解し、また人体に対する畏敬の念も深められました。



時間割例 (2年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	免疫学	基礎医学演習	症例基盤・ 問題解決型学修(実践)	分子生物学	医学英語入門
2		臨床解剖学	臨床解剖学		臨床解剖学
3	病理学総論	臨床解剖学実習	臨床解剖学実習	微生物学	臨床解剖学実習
4					
5					

3年次の学び

学んできた知識と
リンクさせながら、
より深い知識として定着。

医学部 3年

▶ **京みのり** (秋田県立能代高等学校出身)

3年次は器官病理学に力を入れて受講しました。1、2年次に学んだ基礎医学の内容と、これから学んでいく臨床科目を橋渡しする科目でもあるため、学んできた知識とリンクさせながら勉強でき、より深い知識として積み上げていくことができました。次年度からは病院実習が始まるため、薬学の知識に加え医学の知識も必要になります。そのぶん覚えるべきことも多くなりますが、積極的に患者様とコミュニケーションするなど、実際の医療の現場だからこそできることに挑戦したいです。



時間割例 (3年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	産婦人科学	腎臓病学	神経病学	消化器病学	予防医学
2					医学英語
3	循環器病学	免疫病学	血液病学	小児科学	呼吸器病学
4					
5	臨床医学演習				

4年次の学び

一人ひとりの患者様に
真摯に向き合える
医師になることが目標。

医学部 4年

▶ **工藤 正裕** (私立盛岡中央高等学校出身)

4年次は臨床実習開始前に行われる評価試験であるCBTの合格が大きな目標の一つになります。この試験は総合的な知識が問われるものであり、これまで学んできたことの総復習であると同時に、臨床実習に向けての知識の再確認という意味合いもあります。そのため講義が「統合医学演習」で、私自身も特に力を入れて受講しました。本学の建学の精神である「医療人たる前に、誠の人間たれ」に恥じないように、一人ひとりの患者様に真摯に向き合える医師を目指していきます。



時間割例 (4年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	神経精神科学	皮膚科学	法医学	麻酔学	整形外科科学
2					
3	眼科学	耳鼻咽喉科学	泌尿器科学	神経精神科学	救急医学
4					
5			医事法学		

5 年次の学び

「病院実習」で
指導医の先生の1日に密着。
さらに憧れが強くなりました。

医学部 5年
▶ 高橋 啓悟 (長野県伊那北高等学校出身)

5年次は「病院実習」で指導医の先生の1日に密着しました。患者様に接する様子に加え研究者としての一面も知ることができ、さらに憧れが強くなりました。私も患者様に毎朝お会いすることで日々の細かな変化に気を配り、一緒に治療方針を考えることで大きなやりがいを感じられました。また、全国の医学生が一堂に会して医療現場での手技を競う「シムリンピック」に出場したことも印象深いです。多くの先生方にご指導いただき、救急部門で3位になることができました。



時間割例 (5年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	朝カンファレンス	外来実習	朝カンファレンス	外来実習	病棟実習
2	筋電図実習		病棟実習		
3	病棟実習		グループ回診		
4	症例検討会	病棟実習	総回診	病棟実習	神経筋疾患 (講義)
5	神経放射線 (講義)		総回診		頭痛 (講義)
6	病棟実習	神経学診断 (講義)	アテローム血栓症 (講義)		

6 年次の学び

米国研修で癌研究の
重要性を実感。確かな技術を
備えた消化器外科医に。

医学部 6年
▶ 小泉 優香 (岩手県立大船渡高等学校出身)

3年次から配属されている外科学講座の研究室で、癌培養細胞の薬剤投与に対する分子メカニズムについて研究を行いました。小さいながらも癌研究における新しい発見ができたことから興味が深まり、「高次臨床実習」の消化器外科ローテートを通して米国ジョージメイソン大学で1ヶ月研修させていただき、癌研究の重要性を学びました。消化器外科医に憧れて医学部を目指した私は、先生方の美しい手術手技を見学させていただき、自分も同じように患者様の病気を治したいと強く思いました。



時間割例 (6年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		朝カンファレンス・回診	朝カンファレンス・回診		朝カンファレンス
2	朝回診		朝回診	朝回診	
3			リサーチ		
4	手術見学	手術見学	朝カンファレンスでのプレゼン作成	手術見学	リサーチ
5					
6					